

●円山動物園のゾウ・ゾウ舎の一般公開について

2014年の日本とミャンマー連邦共和国との外交関係樹立60周年を記念して、同共和国から寄贈されたアジアゾウ4頭は、昨年11月30日に円山動物園に到着後、ゾウ飼育の専門家であるアラン・ルークロフト氏を招き、ゾウ舎で新しい環境に慣れる訓練を続けてまいりました。

このたび、ゾウたちが新しい環境に慣れ、健康状態も良好であることから、昨年9月に完成したゾウ舎とゾウたちを3月12日から一般公開します。

ゾウ舎は、冬でも水浴びができる屋内プールなど、ゾウが生き生きと過ごすことができる工夫がたくさん盛り込まれている国内最大級の施設です。また、来園者がゾウを間近に観察できるほか、ゾウを取り巻く環境問題なども分かりやすく学べます。多くの市民・観光客の方に来園いただき、ゾウに対する理解を深めていただきたいと思います。

1 一般公開日

3月12日(火)

2 飼育動物

アジアゾウ4頭(2018年11月30日来園)

- ・メス(母)27歳(1991年4月28日生)
- ・メス(子)5歳(2013年5月12日生)
- ・メス15歳(2003年9月12日生)
- ・オス10歳(2008年8月4日生)



▲ゾウ舎外観

3 ゾウ舎の概要

(1) 建設費

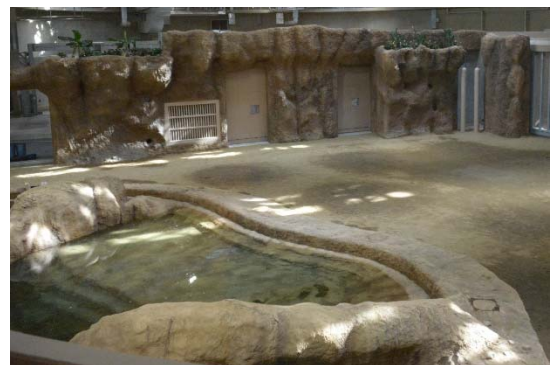
約30億円

(2) 施設構造

鉄筋コンクリート一部鉄骨造
地下1階・地上2階建て

(3) 施設規模

屋内面積：約2,200㎡(延床3,406㎡)
屋外放飼場面積：約3,000㎡



▲ゾウ舎内観

4 ゾウ舎の主な特長

(1) ゾウが生き生きと過ごすことができる環境

- ・屋内外の床材に砂を採用することにより、足の健康を維持し、横になって眠ることができる。(砂の厚さ：屋内1m、屋外0.5m)
- ・ゾウ舎としては、国内初となる室内プール(面積136㎡、最大水深3m)を設置し、冬でも大好きな水浴びをすることができる。
- ・クレーンを設置し、餌を高い所につるしたり隠したりすることにより、ゾウ本来の生活と同様に長い時間をかけて餌を探して食べることができる。

(2) ゾウ本来の姿を観察し、分かりやすく学ぶことができる施設

- ・屋外観覧施設は、敷地勾配・放飼場の高低差を利用し、さまざまな角度から観覧が可能。

- ・屋内観覧施設は、ガラス越しにゾウの水中歩行の様子を観察できるゾーンや、子どもや、来園者などを対象としたさまざまな教育プログラム実施するレクチャールームを設置。

(3) 積雪寒冷地に対応できる施設

- ・外断熱やトップライト、ミスト装置等を採用し、温度・採光・湿度等に配慮。

(4) ゾウと人の安全に配慮した飼育方法の採用

- ・飼育担当者はゾウがいるスペースには入らず、トレーニングエリアで特別な柵越しにゾウと接し、採血等の健康管理を行う「準間接飼育方法」を採用。

5 ゾウ舎のオープン式典

(1) 日時

3月12日（火）11：00～

※一般来園者のゾウ舎への入館は11：30～

(2) 場所

円山動物園「ゾウ舎」前（中央区宮ヶ丘3）

(3) 出席予定者（約80人）

- ・ミャンマー連邦共和国天然資源・環境保全省森林局ニィ・ニィ・ジョウ局長
- ・秋元市長
- ・円山動物園ボランティア会会長
- ・近隣幼稚園の園児 等

(4) 内容

秋元市長や来賓によるあいさつ、テープカットやくす玉割りを行う。

6 ゾウの愛称

1,003人から合計3,549候補の愛称応募があり、現在10組の最終候補で投票を受け付け中。投票結果を基に愛称を決定し、命名式を行う。

(1) 愛称の投票について

① 投票期間

1月24日（木）～2月17日（日）

② 投票会場

円山動物園内：動物園センター、第一レストハウス

円山動物園外：マルヤマクラス2階特設会場（中央区南1条西27丁目）

(2) 命名式について

① 日時

2月24日（日）13：00～

② 場所

ゾウ舎内

③ 出席者

命名者、抽選で選ばれたさっぽろ円山動物園サポートクラブ会員約100人

③ 内容

それぞれの愛称を発表します。

なお、詳細につきましては、報道各社へあらためてご案内させていただきます。

問い合わせ先

環境局円山動物園経営管理課 木村、藤井

電話：621-1426、ファクス：621-1428